



自由民主党

内閣総理大臣補佐官 いたう たつや

# 伊藤達也

元金融担当大臣／衆議院議員／松下政経塾出身

VOICENETmini  
2008年9月号

発行所  
フォーラムフロンティア  
(伊藤達也連合後援会)

〒182-0024  
調布市布田1-3-1  
ダイヤビル2F  
TEL 042-499-0501  
FAX 042-481-5992

## 子どもたちの未来のために

### 政治を叩きなおす

去る9月1日、福田総理が辞任を発表しました。食品やガソリンが値上がりする一方、景気がかげりを見せ、多くの家庭が苦しんでいる中で、一国の首相が突然交代するという事態になってしまったことを、みなさまに心からお詫びいたします。私は今年2月から社会保障分野担当の総理大臣補佐官として、首相を全力で支えてきたつもりでした。このような事態となってしまったことは忸怩(じくじ)たる思いです。現在自民党は新たな総理大臣を選ぶための自民党総裁選を行っています。みなさまの厳しい声をしっかりと受け止め開かれた政策論争を行い、新しい自民党をつくらなくてはならないと心に刻んでいます。

### 安心して子や孫を抱きしめられる社会を

救急患者を引き受ける病院がなく患者がたらい回しにされるなど近年、医療や年金といった社会保障分野の問題点が浮き彫りになっています。実は私自身、学生時代、母を難病で失った悲しみが、政治を志す原点となっています。しかし、私が総理補佐官として目撃した厚生労働行政の現場は、啞然とさせられるものでした。残念ながら、現在の厚生労働行政は制度疲労を起こしています。役所は自分の組織を守ることに必死で、年金の情報公開ひとつにしても、あの手この手で反対をしてきました。それでも私は今年7月、総理補佐官として政府の社会保障国民会議の中間報告と「5つの安心プラン」をとりまとめました。これらは現在の厚生労働行政にメスを入れ、大胆な制度改革を目指すものです。年金制度についても、無年金者をなくし低年金者への給付額を底上げすることを正面から検討しています。実現までの道のりには、一部の族議員や官僚の妨害が予想されますが、すべての人が希望を持って幸せな毎日を過ごすことができる社会を目指し、全力を尽くしていきます。

### 改革の初心を忘れない

中国の古典に「流水腐らず」という言葉があります。「流れる水が腐らないのは動いているからだ」という意味です。「改革」を忘れた政治もやがて腐ってしまうでしょう。私は国会議員に初当選してから15年間、常に「改革」を信念に、「古い自民党」と戦ってきました。その典型はバラマキ政治との闘いです。国民から預かった税金を、特定の業界に多く回し、ムダにつかう。結局、そのつけは増税という形で国民に向かうのです。残念ながら、現在の民主党も選挙を意識して「バラマキ型」の「古い自民党型」の政策を掲げています。私はそうした旧来型の政治を変革し、新しい活力ある日本をつくりたい。すでに自民党政調会長補佐として14兆円もの行政の無駄遣いをあぶり出し、徹底的な歳出削減と成長戦略を柱にする「上げ潮政策」を立案しました。「改革」の初心を忘れず、日本の政治・行政の無駄を省き、経済を活性化していくことで、安易な増税を阻止し、みなさんの生活を守っていく決意です。



# 伊藤達也のこれまでの歩み

## 生い立ちから政治を志すまで

昭和36年7月6日(47歳)かに座 O型

調布第一小学校、調布中学校を経て、慶大法学部卒業

早朝から野川の河原でボールを追いかける野球少年。中学受験するも、すべて失敗。挫折を癒してくれたのはやはり野球だった。

高校では甲子園を夢見て野球部に入部するも、直後に母親が病に倒れる。看病のために退部。多くの人に支えられたが、3年後に母を失う。

松下政経塾へ

母親の闘病生活の中で、医療や福祉の世界の矛盾と向き合う。その矛盾を変えられないか、一人でも多くの人を救えないか、と考えて松下政経塾の門を叩く(5期生)。

政治への志を固める5年間となった。

夫婦で宅配ピザ店をはじめ。「政治家を志すにあたり、自分と家族の生活費くらいは自分で賄えないといけない」という師・松下幸之助の教えに従った。

## 政治家として

1993年 衆議院議員総選挙で初当選(以来、連続5回当選)

2000年 通商産業政務次官、党経済産業部会長、衆議院環境委員会筆頭理事

攻めと守りの構造改革を訴える。IT・中小企業政策、環境問題などに取り組む。

2002年 内閣府副大臣(金融担当)、(金融・経済財政政策担当)

2004年 金融担当大臣

金融危機の真っ只中、竹中大臣と金融庁へ乗り込む。主要行頭取が一堂に会し金融再生プログラムに反対するも、ひるまず、不良債権問題を終結させた。

2006年 政調会長補佐として、上げ潮政策を起案

その他、党総務、幹事長補佐、対外経済協力特別委員長

u-Japan特命委員会幹事長、地域再生調査会長、衆議院決算行政監視委員会筆頭理事、財務金融委員長、予算委員会理事など

2007年 松下政経塾で「現代政治講座」を受け持ち、後進の指導にあたる

2008年 内閣総理大臣補佐官として、社会保障を含む経済社会構造 改革を担当

座右の銘:「成功の要諦は成功するまで続けることにある」

家族 : 妻と一男一女の四大家族

趣味 : 野球・映画鑑賞

政策提言する「達也の直球勝負」

ほとんど毎日更新中「伊藤達也ブログ」など内容充実!

伊藤達也

検索

<http://www.tatsuyaito.com>

伊藤達也事務所: 〒182-0024 調布市布田1-3-1 ダイヤビル2F TEL 042-499-0501 FAX 042-481-5992